

特別支援学校教諭としてスタートして1学期が終了した初任者の先生方。夏休みの初日となる7月22日から2泊3日の宿泊研修を行いました。指導案の検討から始まり、さまざまな障害種を理解する講義・演習、心肺蘇生実習など、盛りだくさんの3日間となりました。



第6日【7月22日】

・研究協議「学習指導案の検討」

5~6人ずつのグループに分かれ、学習指導案の検討を行いました。初めての学習指導案の立案で、まだまだ不安や迷い、疑問も多く聞かれましたが、センター指導主事、主査、協力者の助言を受けたり、グループで意見を交換したりする中で、「この授業でねらいたいことは何か」「子どもたちに付けさせたい力は何か」を、どのように指導案として表したらよいか分かってきました。また、この研究協議は各学校の指導担当の先生方に公開しています。参観した先生からは「センターでの研修の様子が分かったので、校内研修にも反映させたい」などのご意見をいただきました。

第7日【7月23日】

- ・本県の医療的ケアの制度と実際
- ・重度・重複障害児の指導(宇都宮大 岡澤慎一准教授)
- ・障害児食事指導(日大松戸歯学部 地主知世専任講師)
- ・AEDを使用した心肺蘇生法

「重度・重複障害児の指導」では、宇都宮大学の岡澤慎一先生より、事例に基づいたたくさんのお話をうかがいました。特に「小さな係わりの蓄積がQOLの向上に大きく寄与するのではないか」という投げかけは、日々の教員の係わりが大切であるということに他ならないと感じました。

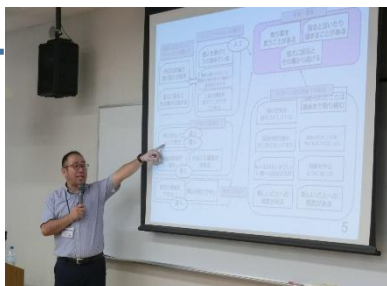
「心肺蘇生法」の実習では、特別支援学校でも起こる可能性の高い、誤嚥時の異物除去の方法も行いました。



第8日【7月24日】

- ・自立活動の意義と内容
- ・自立活動の指導の実際
- ・肢体不自由児の指導の実際
- ・病弱児の指導の実際

「自立活動の指導の実際」では、実際の児童の様子映像を見ながら、自立活動の視点で課題を抽出し、長期目標や指導の手立てを考える演習を行いました。



2日目夜
チームビルディングの様子